

世界はこんな風になってい

く・・・と

娘と二人で話しています

余江朋子

汚してしまった地球を綺麗にする。戦争はしない。

命を代償にするエネルギーは使わない。生き物を絶滅させない。

愛し合う二人が愛の空間に子供を迎える。教育は陽気で楽しく夢中になれるものになる。

子供達に美しい生きた未来(いつか壊れかした世界はでないもの)を残す。

こんな風になつていくんじゃないかと娘と二人で話しています。

なぜなら、これは

たくさんの子供達の願いでもあるし、

人間の根元の願いだと思ふからです。

でも、だって

なく、素直な気持ちに従って生きる人が増えたらいいね、と。



平和なムーミン谷の仲間たち (トーベヤンソン作)

戦争はイヤ!

ほんとうに、もどかしい

平和への道

A

Y

思えば昭和も遠くなりました。一年一年世の中が騒然とし不安や不信が増す中、世界の国々で右傾化になりつつあると言われています。

戦争はイヤ!

わたしの基本はこの五文字に集約されていて、もはや理屈じゃなく腹の底からふつつと湧いてくる感情です。この延長線上に日本国憲法の条文が頭をよぎります。

Simple is the best!

第九条には交戦権を認めない事や、第二十五条には健康で文化的な生活の追求など理想を掲げ、単純明快に記載されているのに何を今更書き足す必要があるのでしょうか?

いろんな問題を抱え、そして引きずりつつ歩んできていますが、武器や弾薬を使わない平和的な方法を、そのほんの小さな小さな糸口でも、次世代の方々に託せることができます。高齢者の私にとりて無上の喜びです。考えてみればほんとは、「もどかしい」の一言です。でもその歩みを変える事なくがんばりたいと思います。

我が家の猫——その後

NM

我が家の猫は、恐らく16歳である。人間の年齢に換算すれば、80歳になるそうだ。いつの間にか、飼い主の年齢を超えてしまった。

ともかく、よく眠る。朝は、居間の座布団の上で丸くなっている。天気の良い日は、ガラス戸越しの陽を浴びてクニャクニャになっている。昼間は、どこにいるのかと捜せば、押入れの飼い主の布団の上で眠っている。

以前、若いころは、スズメや時にはメジロをくわえて、飼い主に自慢げに見せに帰ってくるのがよくあったが、それも今は昔話になった。猫の水飲み場は、庭にある大きな金魚鉢であるが、寒くなった今は、食卓に飛び乗って飼い主のコップから水を飲む。猫なりの省力化なのだろう。

夜も11時になれば、猫は飼い主の顔を見上げて、ミャーゴと鳴く。2階に行って「早く寝よう」と催促する。飼い主が2階に行こうとすると、足元を駆け抜けて2階に先行する。夜中にゴソゴソすることはあるが、朝まで飼い主の布団の上で丸くなっている。猫の平和な一日である



守ろう！
憲法九条
21世紀の宝

檜原憲法九条の会ニュース

No 3 2

事務局・連絡先 樽門 075-391-0567 下山 075-392-3861



池田桂子作



戌

平和をつこう

九条壊すな

それっ！ペツタンコ

手

愛しいと思うのは
おかあさんのひとさし指を
きゅっ とつかんだ
ぼうやの眠り
ちいちゃなその手は
この先なにをつかむのでしょう

えんぴつ
絵筆
さいばし
タクト
桜の枝や
もみじの葉っぱ
いつかは
かわいい少女の手
何でもいいの
どんなものにも
小さな悲しみ
小さな幸せ
まだつかむことしか知らない
無垢なこの手は光がいつぱい
いつか
震えながら
銃をにぎりしめるような日が
どうか
来ませんように

※ この詩は、サトウハチロー記念「おかあさんの詩」第10回全国コンクール（平成18年度、一般の部）の受賞作品です。原作者は中島真悠子氏です。今回、コンクール実行委・事務局を通じ、中島氏の了解を得てここに掲載することができました。（檜原憲法九条の会・事務局）



どんぐり
団栗帽子


四枚の宝くじ

四枚だけ買った初夢
宝くじが当たりました。
まず温泉旅行をして
新鮮な蟹を食べました。
旬の牡蠣やあわびや
伊勢海老も食べました。
祝い酒にはもちろん
大吟醸酒を選びました。
満天の星空の下で
露天風呂を満喫しました。
次には大好きな音楽の
演奏会に行きました。
新しい年が明るい
希望に満ちて始まります。
憲法改変をさせない
運動が大きくなります。
九条はあるがままに
守られて生かされます。
歴史を逆行させるような
政府は退場します。
民主主義と立憲主義が
正に確立するのです。
宝くじの当選金残額は
全て運動に使います。
さて、これで私の初夢の
お話しはお四枚です。

(誠)

3000万署名で平和を守ろう！

安倍改憲(戦争への道)絶対止めよう

♪  ガンバロー



いま、九条の会は「安倍9条改憲NO!」の3000万人署名を強め、9条改憲の発議を止める努力をしています。またこの署名成功は、万一発議が強行され国民投票となっても、九条改憲を否決する力をつくることができます。

これまでの署名： まだまだ少ない状況です。

第一次集約数(昨年12月20日)は175筆でした。(憲法9条京都の会に報告済み)

☆ 新年からの取りくみ： 第2次集約(4月20日)に向けて取組み中です

- 署名用紙を檜原全域に配布済みですが署名未確認もあるので、今後は家庭訪問し、署名の訴えと確認・回収にまわります。その際にご協力をよろしくお願いいたします。
- 1 署名済みの用紙は、お近くの署名ポストに投函、あるいは連絡していただければ集めにいきます。
- 2 署名用紙が必要な方は事務局まで連絡ください、お届けします。

事務局・連絡先： 樽門(タルカト) 075-391-0567 下山(シモヤマ) 075-392-3861

日本
政府は
「核兵器禁止条約」に
早く署名を！

核廃絶を願うローマ法王は、この写真を印刷し配布するよう指示しました。

原爆投下直後の長崎。死んだ弟を背負う少年は、唇をかみしめ、火葬の順番を待っています。



「焼き場に立つ少年」
撮影：オダネル
(米国の従軍カメラマン)

九条文化のひろば

慶春や雪中戯れ犬 元氣

九条ご一家 壮健来福

戌参上 耳目を凝らし 賢守して

傍若無人 許さぬワン

(林 正翁)

新春の 暦をめくる 爺の背中

編集後記

自衛隊員が大きな自然災害時に献身的任務を尽くしてくれること、憲法九条に軍隊として書き込むことは全く次元の違うこと、自衛隊さんありがとうでは済まなくなる。

アベくんの、このごまかしに
だまされなほ。(誠)



初詣 八坂の戌

八坂神社に初詣に行った。東南アジア系と思われる若い男女が着物姿で写真を撮っているのを見て、時代の変化に、何時までも世界が平和であってほしいと願った。(藤原)

戌年。トランプ追従犬、財界べつたり犬、日本会議靖国忠犬などの好戦犬が跋扈中(ぼつちゅう中)。(ぼつちゅう中)。

日本の宝、憲法九条に近づかせてはなりません。市民共闘の力で撃退しよう。(豊)

ソーシャルワーカーの

”人”言

あけましておめでとうございませう。

連載をさせていただきたくようになりました。

二度目の年明けとなりました。

お読みいただいている皆様のおかげで、私自身にとっても成長の場となっております。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

【事例9】頼れるものは?

Iさんは周りの期待に応えるために努力を重ねていました。頑張ってもうまくいかないときに励ましてくれたのはSNSのコメントでした。周りの人に弱音を吐けなかつたIさんは、SNSに辛さを吐いていたのです。

人と人とのつながりは広がりが続いています。インターネットのおかげで世界中の人たちとつながる機会を得、必要な情報を即座に手に入れることができるようになりました。この利便性と効率の向上、ネットワークの拡大は、人間関係の多様性の拡大と信頼の方向性の変化を生み出し



夢 (ピカソ)

Iさんは困ったとき、SNSに答えを求めようになりました。正確な情報と適切なアドバイスをくれるので、IさんはどんどんSNSを信頼していきようになりました。

そんなあるとき、Iさんは自分の妻と意見が合わず、論争になりました。Iさんは妻に、「ネットに書いてある情報だから正しい」と自分の主張の根拠を示しました。それに対して妻は、「私よりどうかの誰かさんの言うことを信じるのね」と言いました。

人の心理は複雑で決めつけられない。かなり曖昧なものですが、その曖昧さを忘れさせてしまうのが「思い込み」です。SNSはマクロの視点では多様性を拡大させましたが、ミクロの視点では個性を偏向させ思考を執着させてしまう危険性をはらんでいます。この大きな問題は、それが個人の無自覚のレベルで起こってしまうことです。

多様であるがゆえに、自分の根拠を求めて無意識的に何かにすがろうとするのです。それは悪いことではないのですが無自覚のまま放っておくと、事例のように対人関係に歪みが生まれます。バーチャルな世界に入り込んで、無自覚的に目の前の人を傷つけてしま

うことにならないように、現実の自身に自覚的にありたいものですね。(事例はフィクションです)

精神科ソーシャルワーカー

山口 隆

あけましておめでとうございませう。
「釣り好き講じて
料理好きに」

調子町 山室政男

釣りが趣味で釣った魚をどう料理するか考えている内に今では、造り・煮物・焼き物・干し物など自分で捌いています。

大物はなかなか釣ることはできず、もっぱらアジ・キス・チャリコ(小鯛)・へだい・このしろさばなど小物主体となっております。

『チヌ釣り主体で釣行している私ですが、最近では妻と筏に乗ることが多くなり、私がボウズでも妻は小魚(アジ・へだい等)の入れ食い状態、それを捌くのはいつも私で釣行の後は結構大変です。』



チヌ釣りとは魚拓



鯛の生姜煮、このしろの酢炙、鯛の潮汁、等々料理の幅が広がっています。

今年こそ大チヌ釣って大皿にどくんと活け造りを盛ってみようと思っておりますが・・・』

平成三〇年元旦